

【 臨床実習指導者の心得 】

くれぐれも事故や問題がおきないことを第一に考えて指導にあたって下さい。

学生と共に学ぶ姿勢を大切に、言動には十分気をつけるようにしてください。

1. 初日はSV / CV で話し合いどちらかが8時までに来ること
2. 患者さんと接する時の心構え、態度、言葉使いを指導する。必ず見本となること。
3. 着替えた服、荷物の置き場所の指示、トイレの場所を説明する。
4. 喫煙は実習時間中禁止、喫煙した場合は実習を即座に中止することを説明する。
5. 長髪の場合ゴムできちんと束ねることを指示する。(その他の身なりなども)
6. 学生がリハ室を離れるときは指導者へ一言声をかけるように指導する。長時間リハ室を離れるときは戻る時間を伝えるよう指導する。指導者は学生が今どこにいるか把握しておくこと。
7. 午前終了後、午後終了後は清掃業務を行うように指示する。自分の職場を清潔に保つことも大事な仕事と話す。(SV も手本をみせること・・・)
8. 一日の基本的スケジュールはありますが指導者の判断で休憩(開始時間の確認)、終了は学生に声をかけてあげること。またはあらかじめ何時になったら休憩するように指示する。
9. 体調不良の学生の場合無理をさせないようにする。必要な場合は診察を受けさせる。
10. トランスファーやベッド上での体位変換時等での転落、脱臼、骨折等の危険性について話しておき、事故がおきない様に注意すること。
11. 感染予防の観点から、手洗いやうがいの指導をすること。また学生の体調によってはマスクの使用を指導すること。
12. 患者、治療に関する守秘義務について指導する。メモの扱い等気をつけさせる。
13. 他部門への情報収集で、他職種に質問に行くときは事前に何をどのように聞くのか確認(場合によっては指導者立会いで)他職種の方に対して失礼のないように指導
14. 患者からの質問で疾病に関する内容は即答せず担当者や指導者に相談するように事前に伝えておく。
15. 患者には学生であることを伝え、協力が得られることを確認してから評価・治療等行わせてもらうこと。(臨床実習で担当させる場合は主治医にも確認を取ること)
16. 指導者が休みの場合は申し送りを他のPTに必ず行うこと。(いればサブバイザーに)学生にも伝えておく。
17. 評価表は本人に見せても構わない。(各学校の方針に従う)
18. レポートの提出期限は厳守させる。(何日の何時までと正確に伝える) 未提出の場合は理由を聞き厳重に注意すること。
19. デイリーノートはバイザー / サブバイザーのみで check し回覧はしなくても可。
20. 不可になりそうな学生は事前に科長に相談すること。 学校にも事前に相談を。
21. 症例報告の日程は早めにホワイトボードに記入する。
22. 見学させてもらった部署には、かならずお礼を伝えること。
23. 図書の貸し出しは基本的には行なわない。原則、私用コピーは禁止。コピーに関してはバイザーにまかせますが、限度を超えない範囲で許可すること。